

# メディア文化史

選 択

開講年次：3 年次前期

科目区分：講 義

単 位：2 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：歴史の中で、その時代の出来事と特徴的なメディアが伝えたことの遍歴を通して、古代から今日までに現れた多様なメディアと文化の歴史を概観する。また、各種メディアの技術開発の歴史および各時代における宗教、為政者、企業、市民の立場から、その活用と社会に与えた影響について理解する。

■**到達目標**：①各時代の文化と各種メディアの関係について理解する。  
②現代社会とこれからの社会での新しいメディアをどのように活用していくか、その方法と課題について理解する。

■**担当教員**：

武田 巨明

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 だれと対話するのか
- 第 2 回 古代社会のメディア
- 第 3 回 言葉と文字
- 第 4 回 宗教とメディア
- 第 5 回 絵画と彫刻
- 第 6 回 印刷と書籍
- 第 7 回 新聞と社会
- 第 8 回 映像と映画
- 第 9 回 ラジオとテレビ
- 第10回 マスコミュニケーションとパーソナルメディア
- 第11回 電子メディアとインターネット
- 第12回 企業とメディア
- 第13回 政治とメディア
- 第14回 個人・市民活動とメディア
- 第15回 グローバル・メディアとこれからの社会

■**教科書**：適宜、資料などを配布する。

■**参考文献**：吉見俊哉「メディア文化論」有斐閣アルマなど。

■**成績評価基準と方法**：講義内レポート+最終レポート60%、授業態度10%、出席30%。

評価方法	到達目標		評価基準	評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②		
定期試験	○	○	最終レポート	50
授業内レポート	○	○		10
授業態度	○	○	積極的な意見交換	10
発表				
課題・作品				
出席	○	○	2/3以上の出席	30
その他				

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：情報社会論

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：授業に出席するにあたり、必ずその日の新聞を読んでから出席すること。